

# Vol.75 新まるとみ新聞

newspaper  
'20 Dec.

発行所  
北九州市若松区本町 1-1-33  
丸富産業（若松区役所前）  
Tel.093-751-1081

すまいdeスマイル  
2年12月号



住まいの

雑学



## 段ボールの歴史

日本の段ボール箱の品質は、世界最高レベルだとか、さすが日本。

荷物の配送や引越しの梱包など、私たちの生活にかかせない段ボールですが、誕生は1856年のイギリス。もともとは紳士がかかるシルクハットの汗取り用として考え出されたものでした。

もとは帽子の汗取り紙

シルクハットといえど、マジックショーで中からハットが出てくるあの黒い円筒形の帽子です。



イギリスで19世紀はじめごろから男性の正装にかかせないものとして定着しましたが、生地が厚く、汗で蒸れやすいという難点がありました。あるときふたりのイギリス人紳士が、帽子の内側に波状に折った厚紙を入れた

クッション材として発展

その後このシワシワのクッション性に着目したのがアメリカ。当時、割れやす

い電球の輸送に苦労していたアメリカで1871年、段をつけたナミナミの紙（段ボールの中芯部分だけ）が発明されて包装材料として使われるようになり、数年後には段が伸びないよう片側にライナー（平らな紙）を貼り合わせた「片面段ボール」が開発されます。

ほどなくしてそれは両面段ボールとなり、1894年にはついに段ボール箱が製造されて緩衝材から輸送箱として使われるようになります。

輸送箱として世界に広がる

こうして輸入品とともに、日本にも段ボール箱が上陸しま



す。それを見た現レオン株式会社（板紙・段ボールを中心とする紙製の包装資材を製造・販売する企業）の創業者、井上貞治郎が明治42年、綿線リ機を応用してナミナミの紙の製造に成功し、段のついたボール紙（がみ）であることから段ボールと命名しました。

当時、輸送の主だった木箱よりも軽く、じょうぶで大量生産でき、しかも使わないときには折りたたんで保管することができると、段ボールの需要はその後右肩上がりとなって、世界中で多くの荷物の輸送に大活躍しています。

余談ですが、ボール紙とは板紙のこと。英語のboard（板）が由来ですが、かつては藁パルプで作られており（現在の段ボールは古紙が主原料）、その色と質感が近づけた馬糞にそっくりだったことから馬糞紙とも呼ばれていました。

トコロ変われば

使用済みや食べかけも返品できる国 ■カナダ

お客さんのためのサービスのよつてお客さんのためになつてないシステム。

カナダで何かお買物をするとき、たいていの場合返品期間が設けられています。電化製品やキッチン用品、洋服など、たい

の期間内であればたとえ使用したものであっても、返品できるというシステム。

うれしいけど自分の好みではないという場合も、だいたい返品可能だといふ。カナダの返品システムは、購入前のお菓子を食べてしまっても、カラの袋をレジに持っていくだけで返金してくれるの

です。そのためクリスマス後のお店は返品と返金で大忙しなのだとか。食品でも問題ありません。袋の中の野菜がいくつかわんぱくした、食べたらおいしくなかったなどの理由で半分返しても全額返金。返品可能。ちなみに購入前のお菓子を食べてしまっても、カラの袋をレジに持っていくだけで返金してくれるの



いという暗黙のルールもあるようです。買い物に失敗はつ

きものなので気軽に返品できるのはありがたいような気もしますが、もし何かを購入するときはそれが返品されたものでないかはしっかりとチェックする必要があります。あるとのことです。

※現在では新型コロナウイルスの影響で衣料品や食品類の返品ができなくなっているところが多いです。

最近すっかり人気なのがグラノーラ。これはシリアルと違って、オート麦を乾燥させたもの。トウモロコシを圧縮乾燥したのがコーンフレークで、オート麦を蒸して圧縮乾燥したのがオートミール、小麦を外皮（ふすま）ごとの全粒穀

物で加工したものはオールブランと呼ばれます。そしてオート麦を中心とする穀物にドライフルーツやナッツなどを加えて食べやすくしたのがスイーツの栄養学者が軽いミューズリーで、素材だけのやさしい甘さが特徴です。さらにそれにメー



若松恵比須神社の「おえべっさん」



## リフォームの基礎知識

塗料はどんどん進化していて意外と選ぶのがむずかしいんだよね。



### 外壁塗装選びのポイント

- 外壁塗装は塗料で皮膜を作って外壁の腐食や劣化を防ぐためのもので、建物の寿命を延ばすためにはメンテナンスが欠かせません。
- 塗料の種類
  - コスト（グレード）が低い順に
    - アクリル系塗料
      - 安価で発色のよい塗料ですが、紫外線や汚れに弱く耐用年数は3〜8年と短め。現在ではほとんど使われません。
    - ウレタン系塗料
      - 比較的安価でアクリル系よりも防水性と耐久性があるためシリコンの次に使われます。耐用年数は5〜10年。
    - シリコン系塗料
      - ウレタン系に比べ耐久性、耐候性、仕上がりよさにすぐれ、耐用年数も7〜15年と長め。コストパフォーマンスのよさで現在もとても人気があります。
    - フッ素系塗料
      - 耐久性、耐候性、撥水性に優れているほか、美しい光沢もあり耐用年数も12〜20年と長いのですが、価格が高いため主に商業ビルなどで使われます。
    - 特殊機能
      - ほかに高価ながら耐用年数の長い塗料としてラジカル系塗料、セラミック塗料、光触媒塗料、無機塗料、遮熱・断熱塗料などがあります。
  - 【その他の基準】
    - 上記に加えて選択の基準となるのが★追加機能／遮熱・断熱・防水・無機クリヤー
    - ★ツヤ／ツヤあり・5分ツヤ・ツヤ消し
    - ★溶剤の種類／水性か油性か
    - ★使用方法／1液型か2液型か
    - ★弾性／硬化塗料・微弾性・弾性塗料など。

とくに外壁・屋根の塗装には助成金が出る自治体も多いので、塗り替えを検討中の方はぜひ、自治体または専門業者にお問い合わせください。

## すまいるライフ

